

## Press Release

### 平成 30 年秋の外国人叙勲

トーマス・ケース 元アラスカ大学アンカレジ校学長の旭日中綬章受章

2018 年 11 月 5 日  
在アンカレジ領事事務所

2018 年 11 月 3 日（日本時間）、日本政府は、平成 30 年春の外国人叙勲受賞者を発表し、この中で、トーマス・ケース 元アラスカ大学アンカレジ校学長が叙勲されることが公表されました。ケース元学長は、日本・アメリカ合衆国間の学術交流及び相互理解の促進に寄与した功績が認められ、本年、旭日中綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日中綬章
- ・功績概要： 日本・アメリカ合衆国間の学術交流及び相互理解の促進に寄与
- ・氏名： トーマス・ケース（Mr. Thomas R. Case）
- ・主要経歴： アラスカ大学アンカレジ校学長（2011 年～2017 年）
- ・住所（国籍）：アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市（アメリカ合衆国）

トーマス・ケース氏は、アラスカ大学アンカレジ校の学長として、日本全国の小学校、中学校や高校で外国語を教え、あるいは地方公共団体で国際交流のために働く機会を提供する事業である JET プログラムへの協力を通じて日本・アメリカ合衆国間の相互理解の促進に寄与しました。また、ケース氏は、アラスカ大学アンカレジ校の卒業生であるモントゴメリー・ディクソン氏が、JET プログラムで日本に滞在していた 2011 年 3 月に東日本大震災の犠牲になったことを受けて、将来の世代の日本理解の促進及び強化を主な目的とするモントゴメリー・ディクソン日本語・日本文化教育センターの設立に尽力しました。さらに、同氏は、アラスカ大学アンカレジ校の日本語教育プログラムと日本の大学との学術交流の促進に寄与しました。